

平成21年度 いちのみやリバーサイドフェスティバル

【日 時】 平成21年 5月 3日(日)～ 5日(火)

【場 所】 愛知県一宮市国営木曾三川公園 138 タワーパーク

【来場者数】 163,100人(事務局発表)

【内 容】 ゴールデンウィークの5月3日から5日までの3日間「いちのみやリバーサイドフェスティバル」が行われました。3日、4日は好天、5日は昼頃から雨降りとなってしまいましたが大勢の来場客で賑わい昨年を上回る入場者数となりました。

今年度のイベントテーマは「安全・エコおもしろ体験」で、安全おもしろ体験として、衝突実験車による時速5Kmの衝突体験や、運転操作適性検査、危険予知体験などが実施されました。そのほか中学生のブラスバンドや郷土芸能の披露、キャラクターショーなどのイベントも盛り沢山で連日大変な賑わいでした。本年度も上下流交流事業として、町村の委員にも参加協力をいただきました。

各種体験料等(ウォーターゲーム、木工体験、物産販売)は森林整備基金へ積み立てられます。



1. 体験コーナー

1) 木工体験

本年度、3日・4日に県林務課の職員のご協力をいただき間伐材を利用した、「丸太切り体験」を実施しました。小学生を中心とする子供さんが、普段触れる機会のないノコギリを使い慣れない手つきで丸太を切りに挑戦していました。切り落とされた丸太に「信州木曽路」の焼印を押したり、枝を使った工作や、片面に磁石をつけるマグネット作りなどそれぞれの思い出作りができたと思います。



2) ふるさと体験館（ブーチ、壁掛、つる細工、）

子供からお年寄りまで、幅広い年齢層の方に色々な体験メニューを提供していました。数多くある木の实の中から自分の気に入った木の实を選んで製作しているため暑さを忘れるほど集中し製作をしていました。



3) 物産販売（木工芸品、食品）及び抽選会

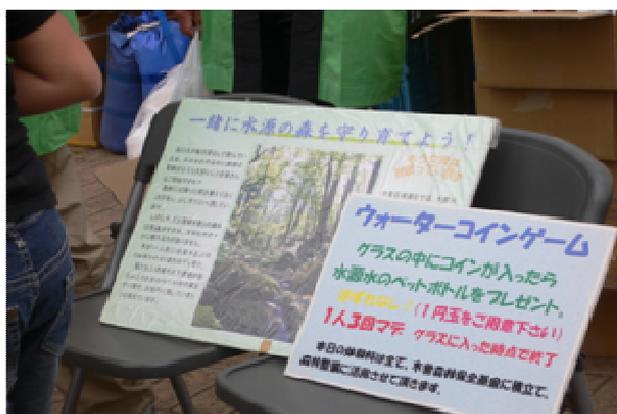
ヒノキ等の木工芸品や木曽に行かなければ買えない限定食品などを中心に展開を図りました。

木工品は寿司桶や箸類を中心に、食品については、そば・麦のお菓子を中心に好評でした。本年度も業者さんより御嶽山の伏流水提供のご協力をいただき、無料試飲を実施しました。



4) ウォーターコインゲーム

ゲームを楽しみながら木曽地域の現状を認識していただき、森林整備にご協力いただくことを目的として、本年度も実施しました。ゲームを始めると瞬く間に行列ができ、景品のペットボトルの水は完全になくなってしまいました。景品がなくなっても並んでいた方たちは皆さんゲームに参加していました。3日間実施する予定でしたが5日の天気予報が悪かったため3日、4日の2日間の実施となりました。



2. 出店者

今回も郡内出店者の御協力により木曽路の大物産展を実施しました。

